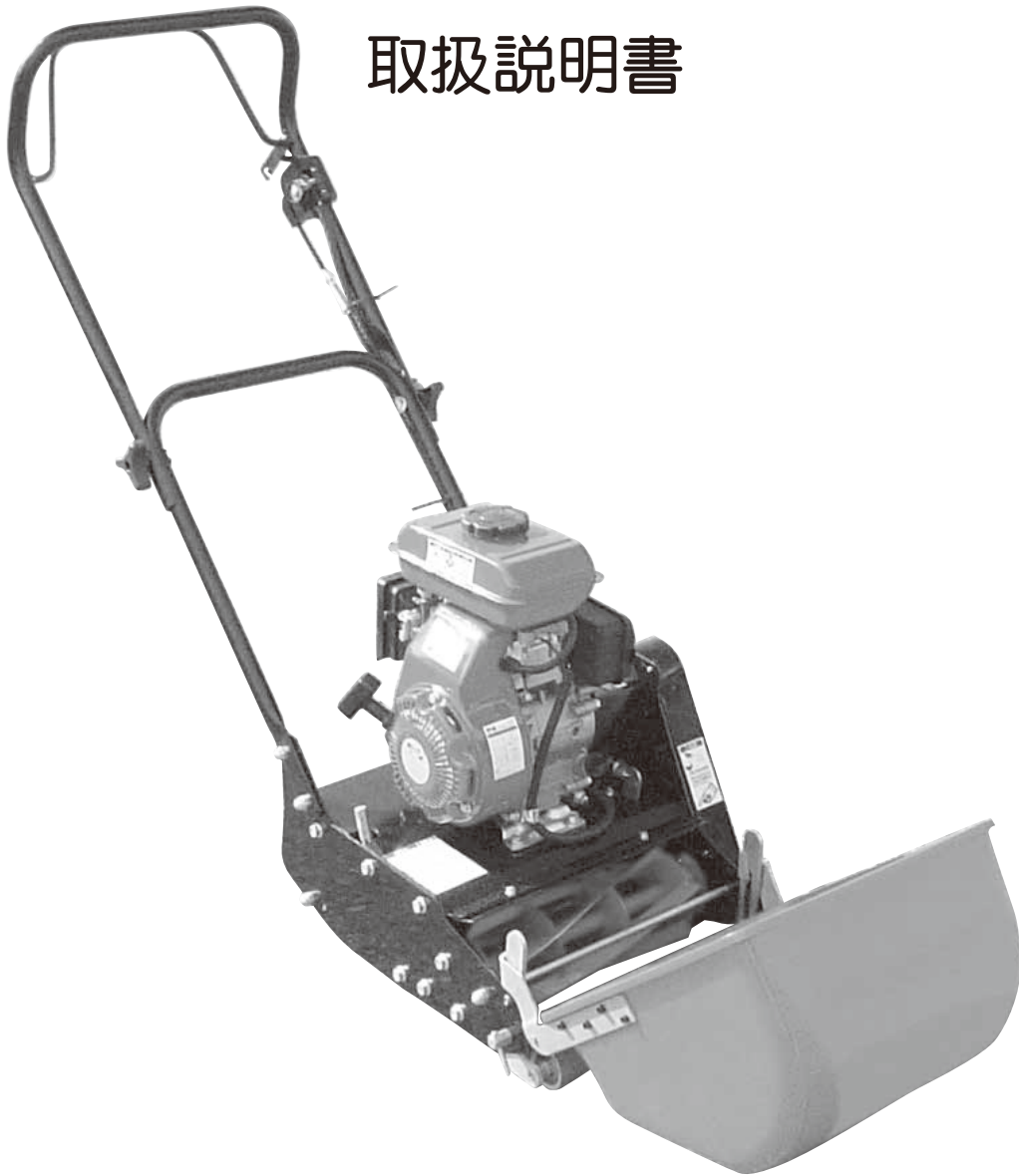


NAKATOMI

# エンジン芝刈機

## ENGINE LAWN MOWER ELM-300

### 取扱説明書



※製品は改良等のため、仕様を予告なく変更する場合があります。

この度は弊社「エンジン芝刈機 **ELM-300**」をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。  
なお、取扱説明書は大切に保管してください。

# 目次

安全上のご注意／表示と意味／危険	1
警告	2, 3
注意	3
各部名称／付属品／仕様	4
組立方法／使用前確認	5
使用方法	6～8
保守と点検	9～11
保管する場合	12
トラブルの原因と対策	13



【安全上のご注意】

- ◆ご使用になる前に安全上のご注意を良くお読みになり正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、守らないと、人身事故や物的損害、火災に結びつく重大な内容を記載しています。
- ◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。
- ◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡しください。

【表示と意味】

**⚠ 危険**

使用を間違った場合に、人が死亡、または、重傷を負う危険、物的損害、火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表記しています。




**⚠ 警告**





使用を間違った場合に、人が死亡、または、重傷を負う危険、物的損害、火災の可能性が想定される内容を表記しています。

**⚠ 注意**


















使用を間違った場合に人が傷害を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を表記しています。

- ※⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。安全にご使用していただくために、いずれの注意も必ずお守りください。
- ※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した、注意事項以外にも十分な配慮をしてご使用ください。







図記号の例		
	<b>禁 止</b>	行為の禁止を示します
	<b>強 制</b>	行為を強制・指示する内容を示します
	<b>注 意</b>	注意を促す内容を示します

<b>⚠ 危険</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用中は絶対に刃部に手足等、体の一部を近づけないでください。回転するリールで手足等の体の一部を切断もしくは巻き込んで重大な人身事故を招きます。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・急斜面での作業はしないでください。急斜面や足場の悪い場所で使用しますと、バランスを保つことができずに転倒し、事故が発生する恐れがあります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・芝刈作業以外には使用しないでください。 本機は芝を刈るために設計・製造されています。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・改造・分解は絶対にしないでください。分解・改造を行った時点で、一切の保証の対象外とさせていただきます。また、分解・改造を原因とする事故・損害などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。</li> </ul>	









## ⚠ 警告

<ul style="list-style-type: none"> <li>商品の運送途中の衝撃により、商品が破損したり、取り付け部品が外れたり曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して、正規の状態でご使用くださいますようお願いいたします。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンは作業機に搭載した状態で使用するようになっていますので、絶対にエンジン単体で始動させないでください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>運転操作のわからない人、指導を受けていない人には絶対操作させないでください。特にお子様は危険です。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>本機に付いているカバーやラベル、その他の部品を外して使用しないでください。また改造は絶対に行わないでください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>疲れているときや体調の悪いとき、酔っ払っているとき、または薬物を服用しているときは絶対に使用しないでください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ガソリンは非常に引火性が高く、気化したガソリンは爆発事故を起こす恐れがあります。給油の際は必ずエンジンを止めてエンジンが完全に冷えた後、周りに火気が無いことを確認して給油してください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>給油の際には絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料はこぼさないように注意してください。もしこぼしてしまった場合には、こぼしたガソリンを良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>風通しの悪い場所や、排気のこもる場所ではガス中毒の原因となりますので、そのような場所では使用しないでください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>側に物のある場所に設置する場合には、火災防止のため最低1 m以上離して設置してください。1 m以上の間隔が取れない場所では使用しないでください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の周りに紙・石油・シンナー・火薬等の燃えやすいものは近づけないでください。爆発事故や火災の原因となります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>常時、本体の上には物を置かないでください。破損や故障、思わぬ事故の原因となります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>作業中は作業場所周辺に人・動物を近づけないようにしてください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>作業を開始する前に作業範囲内の石・空き缶・空き瓶・木片等の固形物を取り除いてください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>作業時にはヘルメット等のJIS等の規格に合格した保安帽及び手袋・防塵メガネ・耳栓を着用し、足下の保護のため安全靴を履いてください。</li> </ul>	

## ⚠ 警告

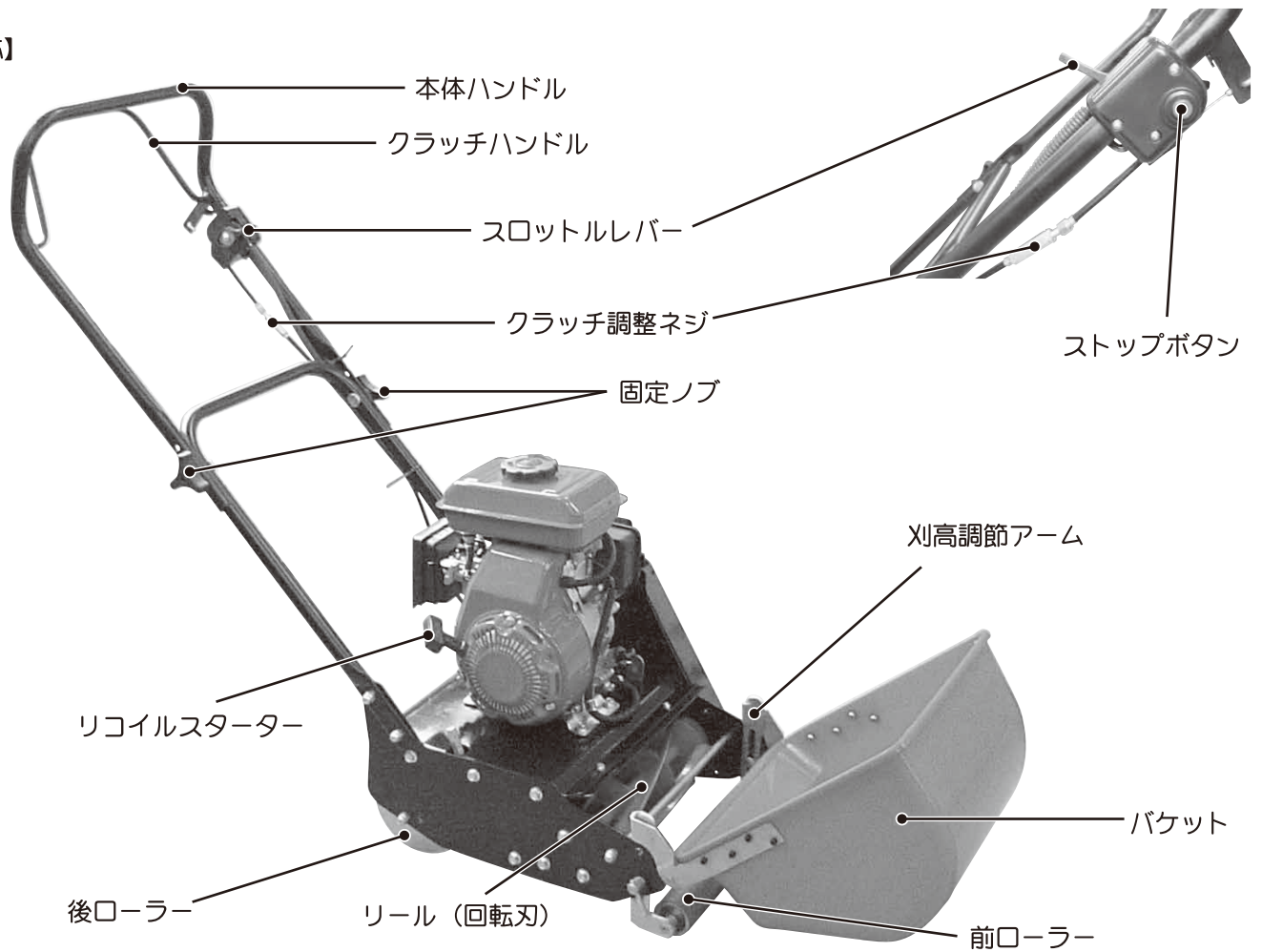
• 作業時には長袖・長ズボンを着用してください。ただし、袖や裾がだぶついたものは巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。	
• 次の場合には、エンジンを完全に停止させ、プラグキャップを点火プラグより外して刃部が完全に停止してから作業を行ってください。 ① リールに石や木片等の異物が入って異常を感じたとき（直ちに使用を中止して異物を取り除き、リール・ナイフ等、本機に異常がないかを点検し、異常があれば修理に出してください。） ② リールとナイフの調整を行うとき ③ 刈高さの調整を行うとき ④ キャッチャーの脱着を行うとき	
• 次の場合には、エンジンを完全に停止させ、プラグキャップを点火プラグより外してエンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。 ① ガソリンの給油またはオイルの交換を行うとき ② 点検・修理・及び部品交換を行うとき ③ Vベルトの調整や交換を行うとき	
• 夜間または天候の悪いときには使用しないでください。	
• 運転後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。火傷の原因となります。	
• 運転中、高電圧コードやプラグキャップに触れないでください。感電の恐れがあります。	

## ⚠ 注意

• 使用前には必ず本機の調整箇所および組立方法を確認してください。 ① 各部のネジのゆるみや各部品の損傷の有無、正常に動作するかを確認してください。 ② 組立は適切に行ってください。 ③ 刃の調整を適切に行ってください。	
• 燃料システムの部品に異常が無いかを定期的に点検してください。	
• 使用時、ガソリンは常に新しい物を使用してください。古いガソリンを使用していると、運転が不調になる原因となります。	
• リコイルスターターや冷却フィンの周りに付いたゴミは取り除くようにしてください。	
• 使用後すぐにエンジンやマフラーの周りを触らないでください。大変熱くなっており、火傷の恐れがあります。	
• バケット・リールカバー・エンジンカバー・ベルトカバー等の部品を外した状態では絶対に使用しないでください。	
• リール（回転刃）の調整やお手入れ等を行う場合には、必ず手袋を着用してから作業を行ってください。	
• 使用後には必ずお手入れをして、湿気のない場所に保管してください。お手入れを怠ると錆が発生する等して、刃が切れなくなる場合があります。	

※注意に表記してある物でも状況によっては、死亡、重傷等、重大な事故につながる恐れがありますので、必ず守ってください。

【各部名称】



【付属品】



エンジンオイル×1

プラグレンチ×1

オイル交換用  
パイロットアダプター×1

スパナ×1

【仕様】

型 式	ELM-300
エンジン形式	FL-152
排 気 量	97ml
出 力	1.3kW/3600rpm
使用燃料	無鉛ガソリン
タンク容量	1.5L
運 転 時 間	約2.5時間
始 動 方 式	リコイルスターター
点 火 プ ラ グ	NGK:BPMR6A
エンジンオイル量	0.45L
刈 取 方 式	リール式
刈 取 幅	300mm
刈 取 高	7～20mm
本 体 寸 法	W1350mm×D420mm×H950mm (バケット装着時)
本 体 重 量	約32kg

※製品は改良等のため、仕様を予告なく変更する場合があります。



## 【組立方法】



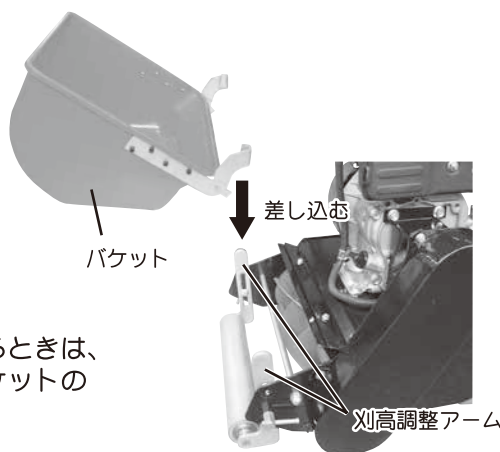
・開梱作業や組立作業を行うときは、ケガ防止のために必ず二人以上で作業を行い、安全のために安全靴・手袋を着用してください。

### ●ハンドルの組み立て



・ケーブル類をハンドルで巻き込んだり、挟み込んだり、折ったりしないでください。本機の性能を十分に発揮することができず、緊急時に事故の回避操作を行えない場合があります。

- ①ハンドルを固定ノブ、ハンドルボルトで確実に固定してください。  
※ハンドルの高さは2段階で調節できます。
- ②ハンドルと本機フレーム部を付属のボルト、ナットで確実に取り付けてください。
- ③ケーブル類にねじれ、曲がり等がないことを確認してください。



### ●バケットの取り付け

本機にバケットを取り付けるときは、本機の刈高調整アームにバケットの金具を差し込んでください。

### ●エンジンオイルの給油

開梱時、エンジン内にはエンジンオイルが入っておりません。

10ページ【保守と点検】の項目●エンジンオイルの点検・交換を参考に、付属のエンジンオイルを給油してください。

### ●燃料の給油

燃料は自動車用無鉛ガソリンをお買い求めください。

6ページ【使用方法】の項目●燃料の給油を参考に燃料を給油してください。

## 【使用前確認】

ご使用前には必ず、下記内容をご確認ください。

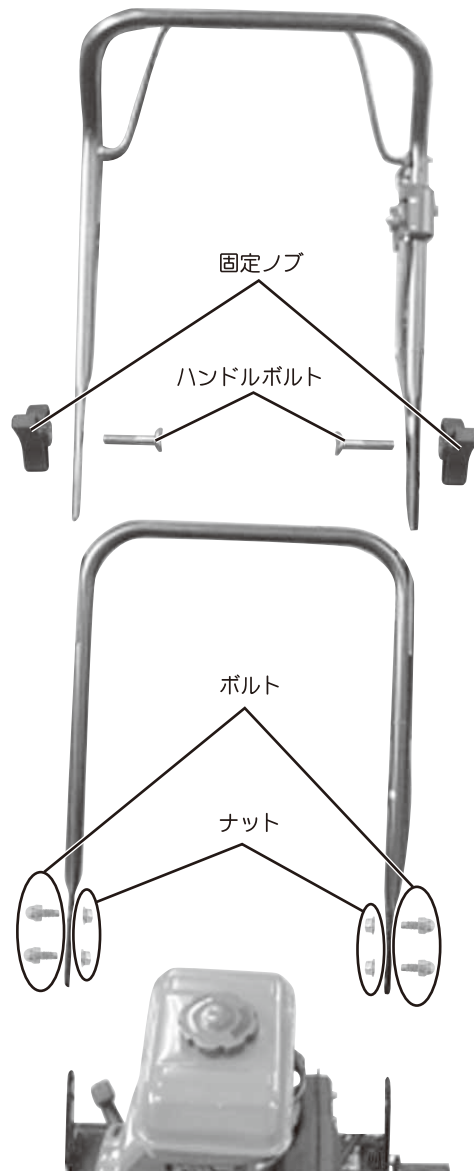
### ●エンジンオイルの確認

エンジンオイルが少ないと、エンジンの焼き付き等、トラブルの原因となります。

ご使用前には毎回必ずエンジンオイル量の確認を行い、オイルの量が少ない場合には、オイルの補充を行ってから使用してください。

### ●燃料タンクや燃料ホースから燃料が漏れていないか確認してください。

燃料が漏れたまま使用しますと、引火、火災、爆発等の事故に繋がります。燃料漏れがある場合には使用しないでください。また、給油時に燃料をこぼされた場合には、こぼしたガソリンを良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。



## 【使用方法】

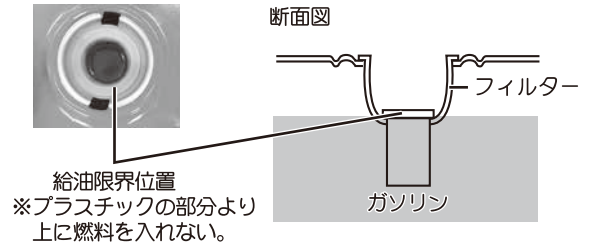
### ●燃料の給油



警告

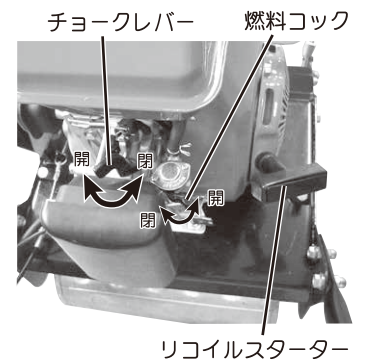
- ・給油の際には絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。（火気厳禁）
- ・発火の恐れがありますので、エンジンが完全に冷えてから給油を行ってください。
- ・燃料はこぼさないように注意してください。もしこぼしてしまった場合には、こぼしたガソリンを良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。
- ・燃料は注入口の口元まで入れず所定の給油限界位置まで給油してください。入れすぎますとガソリンがタンクキャップからにじみ出ることがあり、大変危険です。

- ①タンクキャップを取り外し、自動車用無鉛ガソリンを入れます。  
※給油の際、燃料フィルターは取り外さないでください。
- ②ストレーナーのプラスチック網の上部までガソリンを入れます。  
ストレーナーの上方にある金属部まで給油しますと、給油限界位置を超えてしまい、燃料漏れの原因となります。
- ③給油後は、タンクキャップを確実に締め付けてください。



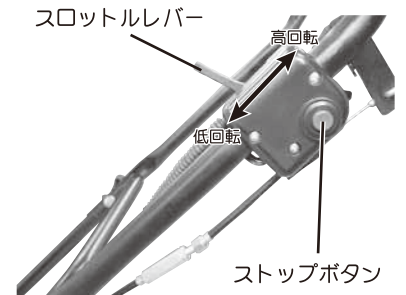
### ●エンジンの始動

- ①燃料コックを開きます。
- ②スロットルレバーを高回転側へ半分ほど動かします。
- ③リコイルスターターを引っ張り、エンジンを始動させます。  
※エンジンがかかりにくいときはチョークレバーを閉じます。  
この場合、エンジンの調子を見ながらチョークレバーを開側へ戻してください。  
※作業内容に合わせ、スロットルレバーを調節してご使用ください。



### ●エンジンの停止

- ①スロットルレバーを低回転側に戻し、1～2分アイドリング運転を行います。
- ②スロットルレバー横側のストップボタンを押し、エンジンの運転を止めます。  
エンジンが完全に停止するまでストップボタンを押し続けてください。  
※完全にエンジンが停止する前にストップボタンから手を離すと、エンジンが停止しない場合があります。
- ③燃料コックを閉じます。





## ●操作方法



- ・調節や芝刈作業で本機を傾ける場合には、全方向15°以下で行ってください。

## ●刈高さ調節

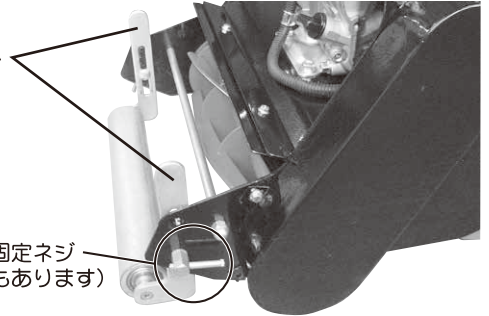


- ・刈高さの調節を行う際には必ずエンジンを切り、プラグキャップを点火プラグより抜き、リールの回転が完全に停止したことを確認してから作業を行ってください。

- ①アーム固定ネジをゆるめ、芝を刈り込みたい高さに刈高調節アームを調節し、アーム固定ネジで固定します。  
※刈高調節アームは必ず左右共に同じ高さで固定してください。前ローラーの下に刈り込みたい高さの台等を置くと調節が楽に行えます。  
※アーム固定ネジは反時計方向に回すとゆるみ、時計方向に回すと締まります。
- ②刈高さは7～20mmの間で調節できます。

刈高調節アーム

アーム固定ネジ  
(反対側にもあります)



## ●クラッチハンドルの操作（リール刃の回転・停止操作）方法

- ・クラッチハンドルを本体ハンドル側に引き寄せると、リール（回転刃）が動きます。
- ・本体ハンドル側に引き寄せているクラッチハンドルを離すとリールの回転が停止します。

※クラッチハンドルを離しても、リールの回転はすぐには停止せず暫くの間回転していますので、注意してください。  
※クラッチの作動調整が適切に行われていないと、クラッチハンドルを離してもリールの回転が停止しないことがあります。その場合には速やかにストップボタンを押し、エンジンの運転を停止させてください。そのままの状態で使用されますと、機械の破損やケガ・事故等の原因となり、大変危険です。  
※クラッチの調整を行う場合は、9ページ【保守と点検】の項目●クラッチの点検を参照してください。

## ●芝刈作業



- ・事故防止のため、作業を行う際には本取扱説明書の警告欄および本体ラベルの指示を遵守してください。



- ・エンジン回転数の上げ過ぎは、異常振動の原因となります。



- ・次の作業を行う際には必ずエンジンを切り、プラグキャップを点火プラグより抜いてから行ってください。  
刈高さの調整・バケットの脱着・リールに巻き付いた異物（草・布・ビニール・針金等）の除去

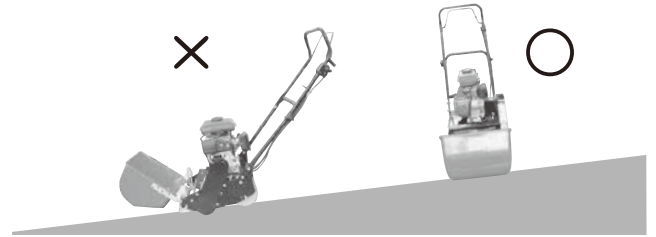
- ①作業を開始する前に作業範囲内の石・空き缶・空き瓶・木片等の固形物を取り除いてください。
  - ②エンジンを始動します。
  - ③クラッチハンドルを握るとリール（回転刃）が回転を始めますので、そのまま本機をゆっくりと押して進みます。
- ※芝刈作業時の状況によってはエンジンまたはリールの回転が下がって、芝刈作業がうまくできない場合があります。この場合には次の方法によって作業を行ってください。
- ◆刈取幅を狭くする。
  - ◆刈高さを高く調整する。

●斜面での作業



・急斜面での作業はしないでください。急斜面や足場の悪い場所で使用しますと、バランスを保つことができずに転倒し、事故が発生する恐れがあります。

ゆるやかな傾斜面で作業を行う場合には、上下方向ではなく横方向（等高線方向）で作業を行ってください。



●芝刈作業アドバイス

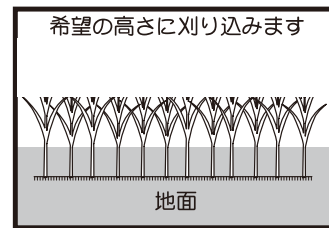
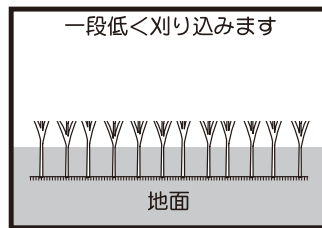
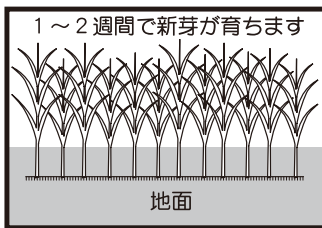
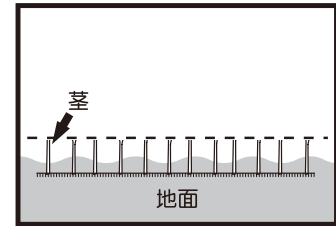
芝生は求めたい刈高さよりも一段低く刈り込み、一週間から二週間放置すると新芽が芽吹きます。

1回目は一段低く刈り込み、2回目以降は求めたい刈高さで刈り込んでください。

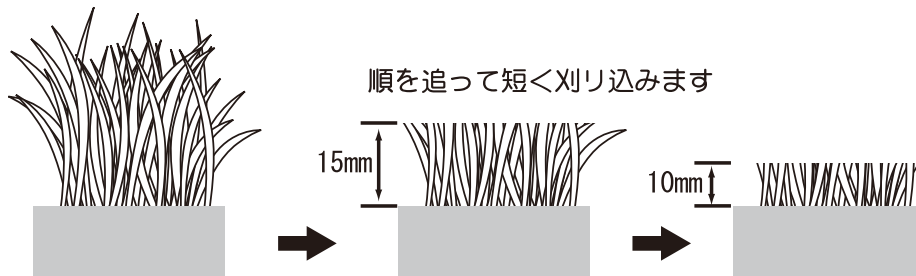
※芝生は刈り込みの方法によっては基準よりも低く刈り込める場合があります。



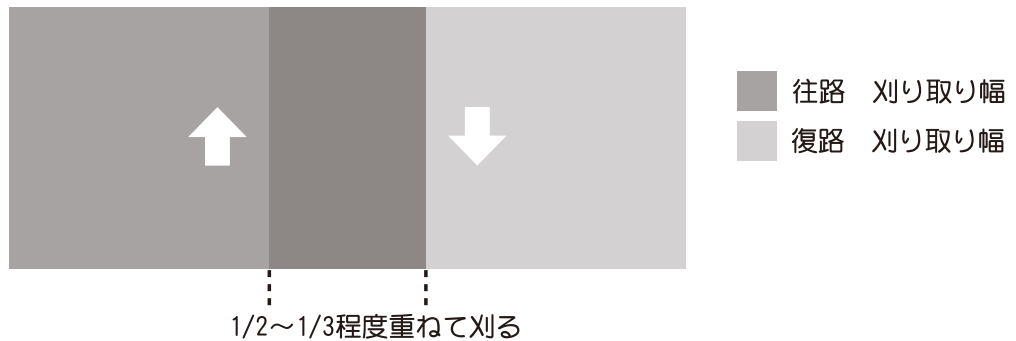
・地面や芝生の状態が良くない場合や、長く伸びすぎた芝を一気に刈り込む等の行為は、芝を茎まで刈り込んでしまい、芝生が枯れてしまうことがあります。低刈にはご注意ください。



※長い芝は日をおいて順次短く刈ってください。最初から短く刈ると、芝刈機本体に負荷がかかり、故障の原因や、芝が枯れる恐れがあります。



※刈り取った幅の1/2～1/3を重ねて刈ると、むらなく刈ることができます。



●刈込速度

刈り込みの速さ（芝刈機を押し歩く速さ）はゆっくりと、芝生の状態に合わせて動かすときれいに仕上げることができます。

## 【保守と点検】

### ● リール（回転刃）とナイフ（受刃）の調整



- ・刃の調整を行う際には必ずエンジンを切り、プラグキャップを点火プラグより抜き、リールの回転が完全に停止したことを確認して、安全のため必ず手袋を着用してから作業を行ってください。

※ 運送中にリール（回転刃）とナイフ（受刃）の摺り合わせ調整が変わっている場合がありますので、初運転や輸送後初めての運転の際には、必ずリールとナイフを点検をしてください。

① プラグキャップを点火プラグより抜いてください。

② リール（回転刃）後方にある調整ナットを時計方向に回すと摺り合わせが弱くなり、反時計方向に回すと摺り合わせが強くなります。

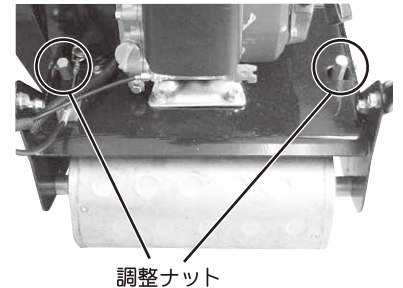
※ 摺り合わせの調整を行う際には、必ず左右平均に僅かに摺り合う程度にしてください。摺り合わせ音が全く出ないときは、リール（回転刃）とナイフ（受刃）の間に隙間があり芝を刈ることができません。また、摺り合わせが強すぎると、刃の寿命を縮め、芝刈機本体への負荷も多くなるため、故障等の原因となりますので、ご注意ください。

#### ◆ 正しい調整

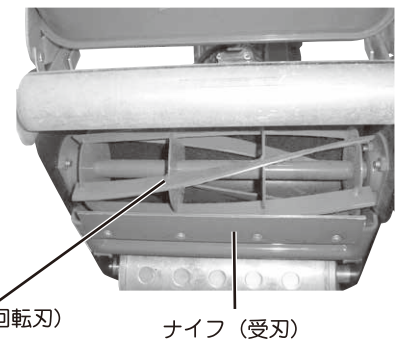
多少の摺り合わせ音が発生し、リール（回転刃）とナイフ（受刃）の間に新聞紙を入れ、リールを手で回すと新聞紙が切れる程度の状態が、正しい調整です。

※ 刃の研磨は行えません。リール（回転刃）が劣化しましたら新しいものと交換してください。

本体ハンドル側



本体前方底面



### ● クラッチケーブルの調整

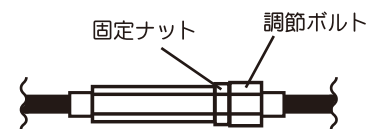


- ・クラッチケーブルの調整が不十分だと、不意にリール（回転刃）が回転を始める場合があります、大変危険です。

・ エンジンを始動したときに、クラッチハンドルを握っていないのにリール（回転刃）が回転する場合には、クラッチケーブルに付いているアジャスターの調整ボルトを、リールの回転が止まる位置まで締め、固定ナットで調整ボルトを固定してください。

・ クラッチハンドルを握っているのにリール（回転刃）の回転が弱くうまく刈り取りができない場合には、クラッチケーブルに付いているアジャスターの調整ボルトを、適度にリールが回転する位置までゆるめ、固定ナットで調整ボルトを固定してください。

アジャスター



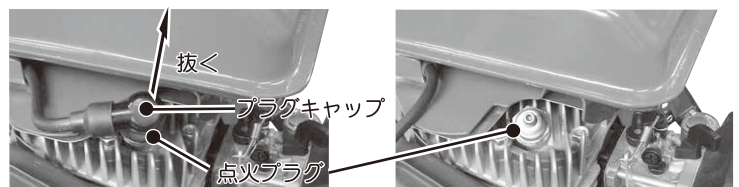
締める ←                      → ゆるめる  
 ※リールが勝手に動く場合                      ※クラッチハンドルを引いても動きが悪い場合

### ● 点火プラグのお手入れ



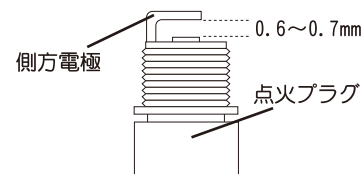
- ・電極が汚れたり電極の隙間が不適切だと、正常な火花が飛ばなくなりエンジンの回転数が不均一になる等、エンジン不調の原因となります。
- ・点火プラグの点検・清掃・交換・調整は完全にエンジンが冷えてから行ってください。
- ・点火プラグの取り付けは点火プラグのねじ山を潰す恐れがありますので、はじめは指で軽くねじ込み、それからプラグレンチで確実に締め付けてください。

・ プラグキャップ・点火プラグを外して、カーボンの汚れがあるかどうか確認してください。  
 ※汚れている場合には、プラグ用クリーナ、ワイヤーブラシ等でカーボンを落としてください。



※ 付属のプラグレンチで外してください。

指定プラグ	NGK	BPMR6A
-------	-----	--------



※ 電極の隙間が大きい場合には、側方電極を曲げて、隙間の調整を行うか、交換してください。

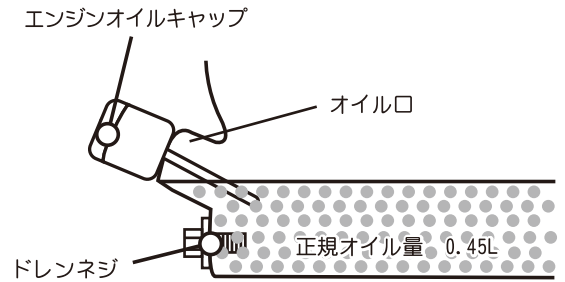
●エンジンオイルの点検・交換



- ・エンジンオイルの交換を行うときは、エンジンを完全に停止させ、プラグキャップを点火プラグより外してエンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- ・エンジンオイルの点検・交換を行うときは、絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。

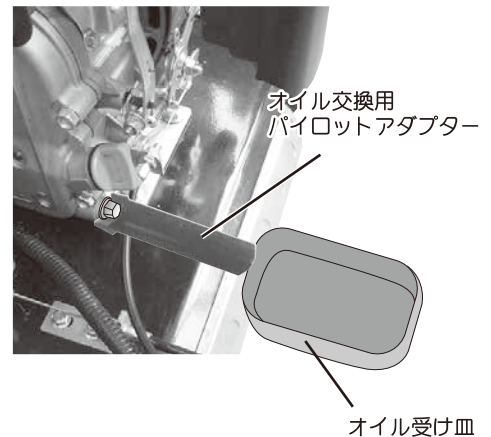
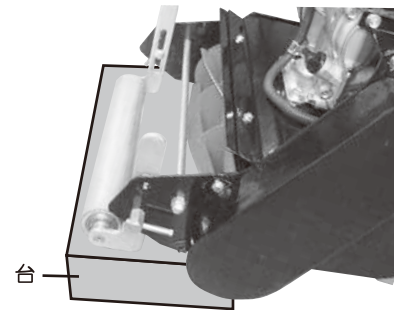
◆エンジンオイルの点検方法

- ・ご使用前には必ずオイルの量・汚れを確認してください。
- ・エンジンを水平にし、本体ハンドル側のオイル給油キャップを外してオイル量を確認してください。
- ・エンジンオイルが不足している場合には、新しいオイルをオイル口の口元まで補給してください。



◆エンジンオイルの交換方法

- ①前ローラーの下に高さ 5 cm程度の台を入れ、本体を傾けます。このとき、傾け過ぎますと本体が転倒する恐れがありますので注意してください。
- ②後ローラーの後方にオイル受け皿を置きます。
- ③ハンドル側のドレンネジをスパナでゆるめます。
- ④付属のオイル交換用パイロットアダプターをドレン口の下に差し込み、オイル交換用パイロットアダプターとオイル受け皿の位置を合わせます。
- ⑤ゆるめたドレンネジを外し、エンジン内のエンジンオイルを排出させます。
- ⑥エンジン内のエンジンオイルが完全に排出したら、前ローラーの下に入れた台を取り出し、本体を水平に戻します。
- ⑦オイル交換用パイロットアダプターを取り外して、ドレンネジを確実にしっかりと締め付けます。締め終わったら本体に付着しているエンジンオイルをきれいに拭き取ってください。
- ⑧オイル口より新しいエンジンオイルを入れます。



オイル正規量	0.45L
グレード	自動車用エンジンオイルAPI規格SEクラス以上／SAE粘度分類10W-30ランク

- ※初回は25時間程度でオイル交換してください。その後は50時間を目安に交換してください。
- ※オイルキャップやドレンネジは確実にしっかりと締めてください。締め付けがゆるいとオイル漏れの原因となります。
- ※エンジンオイルは使用しなくても自然に劣化しますので、定期的に交換してください。
- ※廃油は法令に従って適切に処理してください。不法投棄は絶対にしないでください。



## ●エアークリーナーのお手入れ



- ・洗い油は引火しやすいので、タバコを吸ったり炎等の火気を近づけないでください。火災や爆発の原因となり大変危険です。
- ・エアークリーナーの清掃は換気の良い場所で行ってください。



- ・エアークリーナーが目詰まりしますと、エンジンの始動不良や出力不足、燃料消費量の増加等の原因となりますので、定期的に清掃をしてください。

①エアークリーナーカバーを上方向にスライドさせて取り外します。

②フィルターカバー中央の+ネジを外し、フィルターカバーを取り外します。

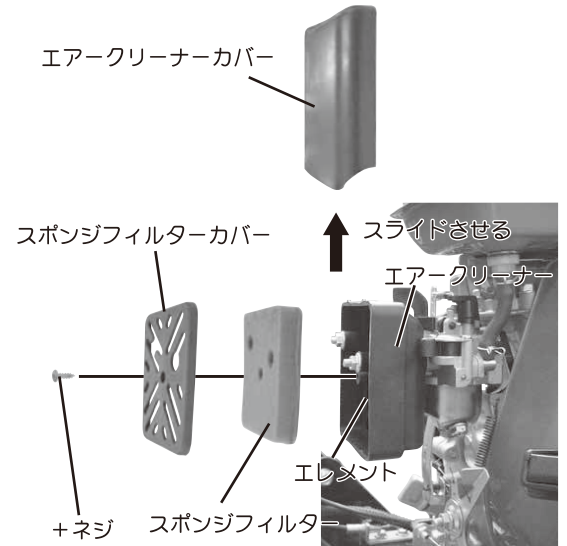
③スポンジフィルターに付着しているゴミやホコリを払ってください。汚れのひどい場合にはエレメントからスポンジフィルターを外し、灯油等でスポンジフィルターを洗浄してください。

※洗浄後、スポンジフィルターをエンジンオイルにひたし、スポンジフィルターからエンジンオイルを良くしぼった物を取り付けてください。

スポンジフィルター内にエンジンオイルの残量が多いと、エンジン不調の原因となります。

※洗浄してもフィルターの汚れがひどい場合、またはスポンジフィルターの弾力が無くなったり傷みがある場合には、新しい物と交換してください。

※エアークリーナーが汚れていると、エンジンの始動不良や出力不足等の原因となりますので、エアークリーナーは綺麗にしておいてください。



## ●その他

- ・定期的にマフラーの点検、各部のナット・ネジのゆるみがないかの確認、燃料漏れ・オイル漏れの確認をしてください。
- ・各部に付いたゴミやホコリはしっかりと拭き取ってください。また、水洗いはしないでください。

## ●長期間使用しない場合



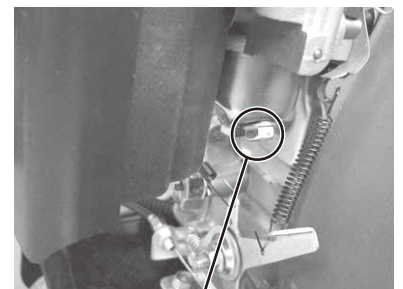
- ・ガソリンは非常に引火性が高く、気化したガソリンは爆発事故を起こす恐れがあります。ガソリンを抜く際は、必ずエンジンを止めてエンジンが完全に冷えた後、周りに火気が無いことを確認してから作業を行ってください。
- ・燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。
- ・燃料はこぼさないように注意してください。もしこぼしてしまった場合には、こぼしたガソリンを良く拭き取り、完全に乾燥させてください。
- ・作業は、換気の良い場所で行ってください。

長期間(30日以上)使用しない場合には、気化器内・燃料タンク内のガソリンを抜いてください。

①気化器のドレンネジを外し、気化器内のガソリンを抜いてください。

※気化器内にガソリンを残したままにしておきますと、気化器内の詰まり、作動不良等の原因となります。

※ガソリンを抜く際は、本体の下にトレー等をひくか、本体を直接トレー等に載せたりして、周囲に燃料がこぼれないようにしてください。



ドレンネジ

## 【保管する場合】



- ・ガソリンは非常に引火性が高く、気化したガソリンは爆発事故を起こす恐れがあります。ガソリンを抜く際は、必ずエンジンを止めてエンジンが完全に冷えた後、周りに火気が無いことを確認してから作業を行ってください。
- ・燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。
- ・燃料はこぼさないように注意してください。もしこぼしてしまった場合には、こぼしたガソリンを良く拭き取り、完全に乾燥させてください。
- ・作業は、換気の良い場所で行ってください。



- ・保管の際は、水平な場所に保管してください。

- ①エンジンを止めてエンジンが完全に冷えた後、プラグキャップを点火プラグから抜いてください。
- ②燃料タンクおよびキャブレター内のガソリンを抜きます。
- ③交換の必要な部品を交換し、各部のボルト・ナットを点検してゆるんでいたら確実に締め付けてください。
- ④エンジンオイルを交換してください。
- ⑤錆びやすい部品に錆防止のため、グリスまたはエンジンオイルを塗布してください。
- ⑥リコイルスターターを軽く引き、重くなったところ（圧縮上死点）で止めてください。
- ⑦本体およびエンジンに付着したゴミ等はきれいに取り除いてください。
- ⑧カバーをかけて、雨が当たらず湿気やホコリの少ない、風通しが良い場所に保管してください。  
※子供の手の届かない鍵のかかる場所に保管してください。



【トラブルの原因と対策】



- 本機の修理は、必ずお買い求め販売店へお申し付けください。
- 運転中、本機の調子が悪かったり本機に異常を感じたときは、ただちに使用を中止してください。
- 取扱説明書の説明以外の分解・修理および改造は絶対に行わないでください。

状 態	原 因	対 策
エンジンが始動しない	ガソリンが無い・古い	新しいガソリンを補給する
	燃料コックが「OFF」になっている	燃料コックを「ON」にする
	点火プラグから火花が出ない	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
	エアークリーナーが詰まっている	エレメントを清掃もしくは交換する
	オーバーチョーク（燃料の吸い込み過ぎ）	点火プラグを外してリコイルスターターを5, 6回引き、点火プラグを装着して、再度エンジンを始動させる。
	燃料パイプが折れている、または外れている	燃料が流れやすいようにパイプを調節する
エンジンの出力不足 および回転が不安定	燃料系の詰まり	清掃する
	エアークリーナーが詰まっている	エレメントを清掃もしくは交換する
	点火プラグの汚れ	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
エンジンが停止しない	スイッチ端子の不良・汚れもしくはスイッチリード線の不良	調整・清掃もしくは交換する
エンジンがオーバー ヒートしている	シリンダーファン部にゴミが付着している	清掃する
	エンジンオイルが不足している	エンジンオイルを補給する
	エアークリーナーが詰まっている	エレメントを清掃もしくは交換する
本体の異常振動	リール（回転刃）・ナイフ（受刃）の破損、もしくは曲がっている	交換する
	ボルトがゆるんでいる	ボルトを確実に締め付ける

※上記の表は簡単な異常に対しての対策のみを記載しておりますので、わからない点や複雑な異常についてはお買い上げいただきました販売店へご相談ください。

# 株式会社 ナカトミ

〒382-0836 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●商品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡下さい。

お客様相談窓口 TEL.026-245-3105 FAX.026-248-9615